

NHKグループ 働き方改革宣言

NHKグループは、業務に携わるすべての人の健康を
最優先に考えます

これまでの慣行を打破して、働き方を抜本的に見直します

1. 長時間労働に頼らない組織風土をつくります
2. 業務の改革やスクラップを進め、効率的な働き方を追求します
3. ワーク・ライフ・バランスの充実により人間力を高めます
4. 多様な人材がいきいきと活躍できる職場を実現します
5. 改革の取り組みを点検・検証し、常に改善を続けます

平成29年12月7日

日本放送協会

会長 上田 良一

「NHKグループ 働き方改革宣言」の推進に向けて

(1) 「働き方改革推進委員会」の設置

- ・会長をトップに定期的に開催し、改革の進捗等を確認
- ・検討が必要な課題を共有し、解決を図る

(2) 「働き方改革推進室」の設置

- ・働き方改革の取り組みの立案、推進
- ・各部署の取り組みのサポートや課題の解決に向けた助言
- ・「働き方改革相談窓口」を設置

(3) 具体的な取り組み

<全協会の主な取り組み>

- ・「健康確保休暇の付与」等の新たな健康確保施策を実施
- ・月1回、働き方総点検を実施
- ・在宅勤務の拡充やサテライトオフィスの導入により、多様な働き方を支援

<放送現場の主な取り組み>

- ・本体制作の番組のスタジオ収録は、来年度から原則22時終了を目指す。
「大河ドラマ（2019年放送分から）」「連続テレビ小説（2020年度放送分から）」は、原則21時終了を目指す。
- ・地域放送局の記者の泊まり業務（拠点局を除く）を、緊急対応の整備を進めながら、段階的に廃止することを目指す。
- ・「定型原稿やテロップの自動作成」等、AI・ICTを活用して、放送現場を支援する。

※各取り組みについては、すみやかに検討を始め、順次、実施していきます。

※関連団体は、各団体の実情を踏まえ、働き方改革宣言の趣旨にそって、取り組みを進めていきます。